

# 本部だより

●第52号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

●発行日：令和7年8月1日 ●発行人：高林 芳夫  
●本部：181-0012 東京都三鷹市上連雀8-7-8  
●電話：0422-77-8557 ●編集人：鈴木 千春



第62回マーシャル方面遺族会慰霊祭 令和7年4月6日 於 靖國神社

## 「夢」

高林 芳夫

皆さま いかがお過ごしでしょうか。

4月6日、第62回慰霊祭を無事開催することが出来ました。今回は企画・神社打合せ・当日の準備・直会と全て青年部の皆さんがやってくれました。

総会では、名誉会長朝香誠彦様・相談役大給乗龍様・元マーシャル大使安細和彦様、六本木男声合唱団、日本歯科大学特任教授中原悦夫様より、それぞれ有意義なるごあいさつを頂きました。総会の後、麗澤大学特別教授、元空将、織田邦男様の講話を頂きました。テーマは「夢」を語れる日本へでした。「大学でのアンケートで、そもそも「夢」が書けない学生が多くいるのに驚いた。先人が未来の希望と「夢」を描いて逝ったのは、現在の若者達の姿ではなかったのか」。また、「公」と「個」についても語られました。

「国家は国民を守るべき共同体である、その国家は国民一人一人が支えなければ成り立たない。今、日本に求められているのは、この原点に立ち戻る事である。若者に対して、先人が描き望んだ「夢」に向けて「公」を大事に国際社会での活躍を期待します」との講話でした。

トランプ大統領の「力」による戦争終結が実現するでしょうか、どんな形にせよ早く戦争が終わってくれることを祈ります。

# 令和7年度 第62回 慰霊祭・総会 報告

令和7年4月6日(日)靖國神社にて、  
慰霊祭・総会が開催されました。

## ■総会

- 一 開会の辞
- 一 あいさつ
- 一 活動報告
- 一 会計報告
- 一 会計監査報告
- 一 今年度行事予定
- 一 その他
- 一 閉会の辞



- ・ 司会・清水副会長より挨拶、山村副会長を議長に指名。
- ・ 山村副会長が開会を宣言。
- ・ 高林会長に続き、総会では、朝香名誉会長、大給相談役、安細篤志会員、ゲストの中原氏(六本木男声合唱団)よりそれぞれご挨拶をいただいた。
- ・ 古田青年部長より活動報告、山村副会長より米国から間合せの日本兵写真について報告。
- ・ 会計・保延副会長より会計報告。

・ 監事・吉田氏より「会計は適正である」と報告

・ 古田青年部長より今年度の行事予定の説明、青年部員の紹介、今後の抱負など。  
・ 議長より閉会が宣言され、総会は終了した。



## ■講話

元空将・織田邦男様の講話をいただきました。

## ■写真撮影

隣室で集合写真を撮影

## ■慰霊祭

12時より昇殿参拝

1階参集殿に移動、朝香名誉会長、高林会長、玉串奉奠者を先頭に拝殿へ向かい、お祓いを受けました。朝香名誉会長が祭文を奏上された後、玉串奉奠者とともに全員が参拝し、慰霊祭は無事に終了しました。



朝香名誉会長、大給相談役、高林会長と青年部メンバー

## 事務局よりお知らせ

次回より、靖國神社への玉串料はお一人様「千円」になります。

慰霊祭参加者 69名 (敬称略・五十音順)

朝香誠彦 朝香貴子 大給乗龍 大給三枝子 安細和彦 安細菊乃 織田邦男 中原悦夫 池田幸夫 石澤洋子 井上賀彦 井上真由美 岩本さつき 大井和子 小田原真由美 小田原豊 小田原由樹 笠原奈美子 金澤亮太 河崎仁衛 黒澤みどり 黒澤亮介 木平良史 小林和子 小室洋子 齊藤玲子 齊藤百香 齊藤好香 齊藤幸生 佐藤勉 清水雅尚 鈴木裕子 高林正子 高林芳夫 田邊順子 富岡滋子 長岡昭子 中村佳子 中村起也 中村優里 長屋政喜 長屋裕太 長屋ゆり子 服部政久 濱田悦子 濱田一輝 濱田誠二 濱田つき子 濱田房枝 濱田真央 濱田祐市 藤田朋子 藤田洋子 古田誠一郎 星野静江 保延恒 保延務 松田美穂 眞鍋公代 眞鍋信一 間々田征史 間々田邦子 山浦邦子 山崎妙子 山村一郎 山村公也 吉田正明 吉村真澄 若狭京子

直会(懇親会)

慰霊祭終了後、希望者はアルカディア

市ヶ谷「翠」に移動し、直会を開催しました。  
お食事をいただきながら親睦を深め、15時30分頃お開きとなりました。



直会 参加者 34名 (敬称略・五十音順)

池田幸夫 石澤洋子 岩本さつき 織田邦男 河崎仁衛 黒澤みどり 黒澤亮介 木平良史 小林和子 齊藤玲子 齊藤百香 齊藤好香 齊藤幸生 佐藤勉 清水雅尚 高林正子 高林芳夫 富岡滋子 中村佳子 中村起也 中村優里 長屋政喜 長屋裕太 長屋ゆり子 蜂屋安理 蜂屋雅代 藤田朋子 藤田洋子 古田誠一郎 保延恒 保延務 山浦邦子 山村一郎 吉田正明

慰霊祭参加者からご感想をいただきました



慰霊祭に参加して

長屋ゆり子さん 高校二年生 (戦没者のひ孫)



今回の慰霊祭で元空将・織田邦男教授、ならびに六本木男声合唱団として実際に戦地へ赴き演奏された中原悦夫氏のお話を伺い、戦没者たちが築いてきた歴史の先に私たちが存在し、これこそが彼らの願った未来であると改めて実感いたしました。



高林輝寿命  
所属部隊 第65警備隊  
戦没地 クェゼリン島  
戦没日 昭和19年2月6日

近年、私のように戦没者との関わりを持たない若者は、戦争を「歴史の教科書に記された出来事」として捉え、遠い昔の、もはや自分とは無関係な事象と区別してしまっている気がします。しかし、織田教授のお話にもあったように、戦没者が望んだ希望に満ちた未来に生きる私たち若者が「夢」や「生きがい」を充分に見出せずにいる現状は、戦後日本に残された大きな課題であると感じます。

戦後80年を迎える今年、私たちは戦没者が命を懸けて敷いた道の上で生活しているという事実を強く意識し、彼らと私たちが一つの道で繋がっていることを再認識すべきだと考えました。

全国的に遺族会の数が減少する中、親から子へと受け継がれてきたこのマール方面遺族会が、今後も子から孫へと活動を継続し、存続していく事を心から願っております。



林川政人命  
(リンカワマサト) 長崎県  
所属 輸送船 秋葉山丸 甲板員  
戦没地 クェゼリン環礁  
戦没日 昭和19年2月6日 33歳

曾祖父と日本商船隊の悲劇を胸に刻む  
木平良史さん(長野県)  
(戦没者のひ孫)

靖國神社の桜が満開の中、あのような素晴らしい日に慰霊祭が執り行われたことに感謝申し上げます。大変貴重な体験となりました。

曾祖父は民間徴用で輸送任務にあたっていた際に、輸送船が撃沈され、その後漂着したクェゼリン環礁で玉碎したと聞いております。

壊滅的な被害を受けた日本商船隊は戦後、奇跡的な復興を遂げ、今日の豊かな海洋国日本を築き上げる礎となりました。

遺児である祖父も商船の乗組員となりましたが、慰霊祭のおかげで先人達の尊い犠牲と尽力に思いをはせる一日となりました。

皆様今後ともよろしくお願いいたします。



※当会からの参列者

高林会長、鈴木千春、保延 務、  
間々田征史、吉村真澄、山浦邦子  
(敬称略)

厚生労働省主催  
千島ヶ淵戦没者墓苑拝礼式

5月26日、午後12時30分より千島ヶ淵戦没者墓苑にて、秋篠宮皇嗣殿下、同妃殿下ご臨席のもと石破内閣総理大臣他、各大臣、政界、遺族等が参列しての納骨、拝礼式が挙行されました。

今回368柱の御遺骨が新たに納骨され、37万1008柱が六角堂に納められております。

秋篠宮皇嗣殿下、同妃殿下の拝礼の後、石破総理大臣拝礼、続いて各政界の方々、遺族代表の献花に続き、遺族等参列者が拝礼して終了致しました。

## 東京都在住の方へ 事務局からのご連絡

千鳥ヶ淵墓苑、全国戦没者追悼式等に  
参列希望の方は、事務局まで封書で

・ お名前（フリガナ）

・ 住所

・ 当日連絡できる携帯番号

・ 生年月日

・ 年齢

・ 戦没者の氏名（フリガナ）

・ 陸軍か海軍かの所属

・ 戦没者との続柄

を明記してお送りください。

対象は東京都の方のみ、となります。

## 新入会員（戦没者との続柄・島名）

植村幹雄様 81歳 香川県（子 ウオッセ島）

戦没者 植村幸雄命

木平良史様<sup>フヒラヨシフミ</sup> 30歳 長野県（ひ孫 クエゼリン島）

戦没者 林川政人命<sup>リンカワマサト</sup>

山村公也様 71歳 熊本県（甥 クエゼリン島）

戦没者 山村敏雄命

※安藤としえ様（宮城県）の後を継承

ご入会ありがとうございます。

## お詫びと訂正

前号（51号）掲載の新入会員の欄

中村貢様の 島名が誤りでした。

クエゼリン島ではなく

正しくは ウオッセ島 です。

お詫びして訂正します。

## 寄付者 御芳名（敬称略）

※令和7年5月29現在

十万円 吉田正明

三万円 濱田つき子

二万円 富岡滋子 橋本勝彦 高林芳夫

一万二千元 酒井則夫

一万円 朝香誠彦 大給乗龍 安細和彦

織田邦男 池田幸夫 黒川正文 諸橋

恒一 長岡俊夫 渡辺美枝子 保延務

八千円 坂本公洋

七千円 上村秀樹 番場守 藤田洋子

北條勝成 宮城勇 西田寿子 山口

良二 奥井國夫

六千五百円 内海淑子

六千円 小室洋子

五千五百円 山本忠

五千円 清水雅尚 長屋綾子 斎藤玲子

大井和子 佐藤勉 小林すみ子 黒

澤みどり 古田誠一郎 井上賀彦 蜂

屋雅代 島名九重 福永弥生

三千円 安藤正子 吉村靖子 小山浩二

東地井義訓

二千円 鈴木千春 原田記子 西岡純一

廣島正光 鈴木友季子 下釜正義 山

本敏夫 高坂和靖 千田啓子 三好茂

勝 宮下勤子 山田昭雄 小林ヨシ子

古市光男 佐藤知子 植田和明 米林

義昭 安西裕子 吉原太郎 瀬戸隆子

秋山正之

一千五百円 山村一郎 石澤洋子 馬場

清 河崎仁衛 笠原奈美子 中村貢

小田原利子 山浦邦子

一千円 山村公也 間々田征史 藤田朋

子 眞鍋公代 下野敦史 和田一郎

鈴木裕子

※80名より合計五十一万六千円のご寄付  
を頂きました。

心より感謝を申し上げます。

## 特別弔慰金について

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求手続きが始まりました。

### ●支給対象者

- 一 弔慰金の受給権を取得された方
- 二 戦没者等の子
- 三 戦没者等の

- ①父母 ②孫 ③祖父母

- ④兄弟姉妹

- 四 右記以外の戦没者等の三親等内の

- 親族(甥、姪等)

### ●支給内容

額面二十七万五千元

五年償還の記名国債

国債の償還金は令和八年から毎年一

回、年五万五千元ずつ支払われます

### ●請求期間

令和七年四月一日から

令和十年三月三十一日まで

### ●請求窓口

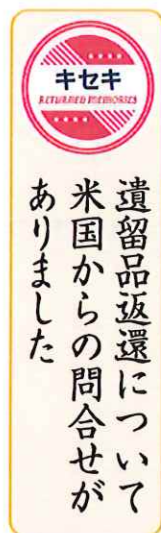
詳しくは、お住まいの市区町村の援護担当課へお問い合わせ下さい。

## 青年部よりお知らせ

青年部のメールアドレスができました。

mibfaseinenbu@gmail.com

青年部へのご意見、リクエスト等がありましたら、このアドレスにお送りください。



NPO法人キセキ遺留品返還プロジェクト※のジャガード千津子様より当会HPに問合せがありました。

※この団体は米国イリノイ州にあり一九七一年から米兵が持ち帰った日本軍人の遺留品の返還活動をしています。

「2月初め、カリフォルニア州在住のデール・モレホン氏より、米国第4海兵師団で撮影部隊に所属していた父親が持ち帰った数十枚の日本将兵の写真を返還したいので協力してほしいとの連絡がありました。

10枚ほどの画像を、当方で下調べをし

たところ、クエゼリン方面で戦死された海軍航空兵の写真が多いと推測しました。フルネームのわかる方がお二人います。  
・荒牧蘇生さん(千歳海軍航空隊と推定)  
・小林和男さん(入籍番号横志整10190)  
その他、佐世保、幌筈、東安憲兵隊におられた方々の写真もごさいます。  
ご本人の特定にご協力いただけないでしょうか？」



●プロジェクト代表 ジャガード千津子氏  
<https://kisekimemories.org/>  
<https://www.facebook.com/projectreturnedmemories>

この一報を受け当会は、一般財団法人日本遺族会福祉課様に調査をお願いしましたが、現在の所は、未だご連絡はありません。

荒牧蘇生さん・小林和男さんのお二人にお心当たりのある方は、事務局にご一報ください。

クエゼリン環礁Ebeeye島で遺骨が発見された記事が現地新聞に掲載

# Ebeeye島で戦没者遺骨発見！



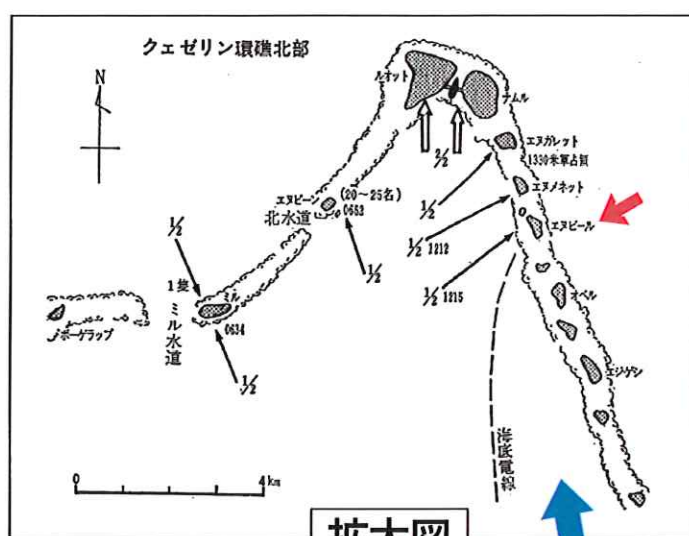
令和7年度は10月中旬から下旬まで、遺骨収容派遣が予定されています。

## ウオツゼ島遺骨収容について

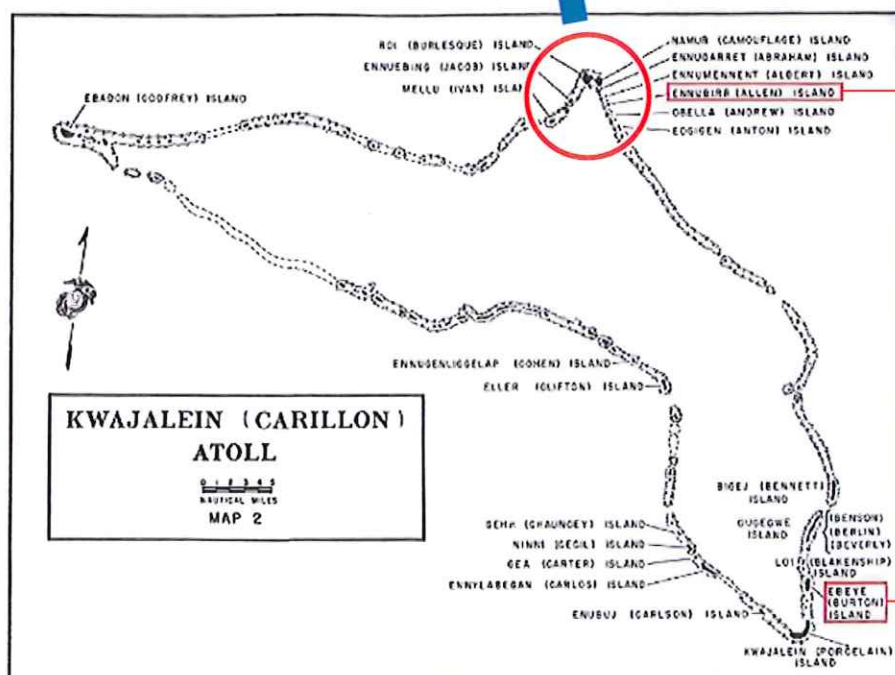
載されました(表4に掲載) 現地調査を推進協会と厚労省で調整中。

### ●資料提供・情報提供をお願いします。

クエゼリン本島、ルオット島の部隊配備図、資料ほか、イバイ島・エニンプル島の一次史料、地図、戦記などお持ちの方は、鈴木まで情報提供をお願いします。一人でも多くの英霊が帰還できるよう、鈴木から推進協会担当者に連絡いたします。



拡大図



#### [ENNUBIRI ISLAND]

- ・日本軍通信中継基地
- ・1944年2月1日の戦闘で34名戦死
- ・2014年に6柱収容

#### [EBEYE]

- ・水上機基地
- ・1944年2月4日の戦闘で800名戦死
- ・1968年に10柱収容
- ・1973年に1柱収容



(<https://marshallislandsjournal.com/>)



家 ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM)) ニュース ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/NEWS/](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/NEWS/))

広告の出し方 ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/HOW-TO-ADVERTISE/](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/HOW-TO-ADVERTISE/))

出版物 ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/PUBLICATIONS/](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/PUBLICATIONS/))

昔 ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/BACK-IN-THE-DAY/](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/BACK-IN-THE-DAY/))

ニュースアーカイブ ([HTTPS://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/NEWS-ARCHIVE/](https://MARSHALLISLANDSJOURNAL.COM/CATEGORY/NEWS-ARCHIVE/))

日本戦没者遺骨収集推進協会よりご提供いただいた、2025.4.17付の現地新聞です。

## 第二次世界大戦の遺骨が発見されました

骨、エバイで見つかった弾丸

(<https://marshallislandsjournal.com/bones-bullets-found-on-ebeye/>)

By ジャーナル (<https://marshallislandsjournal.com/author/jo257452/>) on April 17, 2025  
 ● エバイの骨 (<https://marshallislandsjournal.com/tag/ebeye-bones/>)、La Bojie レストラン (<https://marshallislandsjournal.com/tag/la-bojie-restaurant/>)、ウィルレッド・アリク (<https://marshallislandsjournal.com/tag/wilred-alik/>)、第二次世界大戦の遺骨が発見され (<https://marshallislandsjournal.com/tag/world-war-ii-remains-found/>)、第二次世界大戦の軍用品 (<https://marshallislandsjournal.com/tag/wwii-munitions/>)  
 □ ニュース (<https://marshallislandsjournal.com/category/news/>)



ヒラリー・ホシア 人間の遺体と弾薬は、先週、エバイの旧ラ・ボジエ・レストランの発掘調査中に発見されました。作業員は、1つの隙間から骸骨のグループと古い弾丸のようなものを見つけ、作業を停止せざるを得ませんでした。警察に通報され、安全のために現場に近づかないように言われました。[...]

rayra

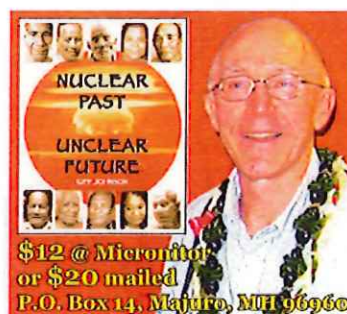
より安全・簡単にお支払い

マーシャル諸島ジャーナルを購読する: 上の金色のボタンをクリックして、年間57ドルを支払います。

サイト内検索...

検索

ギフ・ジョンソン著



※事務局へのご意見・ご感想、投稿記事、マーシャル関連情報などお寄せください。

お問合せ先 事務局・高林 048-223-6110 携帯090-3337-4531 メールアドレス [takabayashi.yoshio@khaki.plala.or.jp](mailto:takabayashi.yoshio@khaki.plala.or.jp)